

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点⑮〉

三郷学の視点

4. つなぐ〈インターネット〉



広報「みさと」は、昭和31年10月、3村合併と共に発行を開始し、それから55年間を経て、今月で第782号を迎えました。当時、市からのお知らせは市内にある掲示板への掲示や町会・自治会などへの回覧、そして広報紙が主なものでした。

その後のインターネット時代の到来と共に、三郷市でも平成11年6月から市ホームページでの情報発信を開始し、市民のみなさんに情報を随時提供する体制が整いました。開始当時の市ホームページ

アクセス件数は、1か月あたり2,000件程度だったものが、現在は11万2,325件と56倍（8月1日～31日、トップページのページビューで比較）となっています。現在では、パブリック・コメントの意見提出や健康診断の申し込み、各課への問い合わせなどもホームページを経由して受付が可能となり、市民のみなさんと市をつなぐ情報共有の大きな役割を果たすようになってきています。

また、最近では文字情報だけでなく民間のサービス（Ustream、youtube等）を活用した動画配信やフォーラム等の中継、またツイッターによる情報の即時提供なども行っています。パソコンだけでなく携帯電話、スマートフォンなどのモバイル端末の普及により、いつでもどこでも行政情報が取得できるようになり、市民参加の機会の拡大に一役買っています。

このような多様な広報媒体によって、市民・企業・行政が双方向につながり、顔の見える関係が強化されていきます。